昭和57年3月20日 604号

千代田区のおしらせ

東京都千代田区役所(九段南一丁目6番11号)電話(264)0151(大代表)郵便番号102

3月15日　区政に貢献されたかたがたを表彰

3月15日、千代田区が発足してからちょうど35年目にあたるこの日、「千代田区35周年記念表彰式」が区公会堂で行われました。

この表彰式では、区政のいろいろな分野で貢献された約370名のかたがたをご夫妻でお招きし、長年にわたる功労に対し、加藤区長から表彰状と記念品をお贈りしました。

表彰式のあと立食パーティーにうつり、参加されたかたがたのなごやかな歓談のうちに、会をとじました。

第一回 区議会定例会始まる

新年度予算 総額二二〇億九、三二九万円
加藤区長 予算案の大綱を説明

昭和五十七年第一回区議会定例会は、三月四日から二十日間の会期で開かれ、総額二百二十億九千三百二十九万四千円にのぼる新年度予算案をはじめとする、二十件の議案が提案され、審議が進められています。

加藤区長は、三月四日の本会議で開会のあいさつを行い、区政をとりまく諸問題や、区政をすすめるにあたっての所信、ならびに新年度予算のあらましなどを明らかにしました。

その要旨をつぎにご紹介します。

区政をとりまく状況

●行政改革について

昨年七月、財政再建を達成するための当面の諸方策を中心とした第一次答申があり、引続き基本答申に向けての検討がすすめられています。

簡素で効率的な行政をすすめることは、国民の誰もが望むところであり、身近な住民福祉をめざす地方自治の役割、ひいては、地方自治の充実強化が、答申のなかでうたわれることを期待します。

●「特例」市構想について

昨年八月、特別区政調査会から答申された「特例」市構想では、特別区を普通地方公共団体として市に改めるとともに、行財政上の「特例」を設けることとなっています。

市となるということは、特別区が、自治体として都から自立し、地域の諸問題を自らの判断と責任で解決することであり、特例を設ける理由は巨大都市東京の特殊性に対応するため、他の府県と市町村との関係とは異なった役割分担や協力方式を設けることであるとしています。

したがって、千代田区の実情を考えると、この構想は評価できるものであり、今後も区議会の意向を踏まえながら、実現に向けて努力していきます。

●都区間の事務配分の問題と都区財政調整制度の改善点

都区間における事務配分については、五十六年度の七項目に引続き、五十七年度においては、特別用途地区都市計画決定をはじめとする二十三項目が、新たに区に移管されることになりました。

事務配分の問題は、今後も引続き検討が行われる予定で、特別区の自治権拡大を図るという視点から、財源の確保も含めて、積極的に対応していきます。

つぎに、今回行われた都区財政調整制度の改正は、千代田区にとってかなり有利なものと考えます。

例えば、本区が改善を主張していた調整費の算定方法や、昼間人口補正が改善され、都心区にとっては望ましいものとなっています。

しかし、納付金制度の廃止をはじめとする自主財源強化の問題など、解決すべき課題が山積みされており、今後もその解決に努力していきます。

※この問題については、「区のおしらせ」二月五日号から〝みんなで考える千代田区の財政〟として連載しています。

区政をすすめるにあたっての基本姿勢

●厳しい経済情勢

現在、わが国は、政治・経済面において、国際的あつれきなど懸念される状況下にあり、国内景気も憂慮される状態にあります。

これを反映して、国、都とも五十七年度予算は、緊縮型予算となっており、このような状況は、少なからず区の行財政に影響を及ぼし、行政運営にもいままで以上の厳しい選択が迫られ、同時に、区政に対する区民の期待も高まっています。

●実施計画の策定と執行

区政は、こうした社会経済状況に的確に対応し、適切な施策を進めるため、総合的計画的運営が特に必要となります。

今回策定した実施計画は、昭和五十七年度から五十九年度までの三か年にわたる行財政運営の指針となるものです。

今回の計画で特に重点を置いた点は、夜間人口減少防止対策をはじめ、社会福祉に関する施策、教育・文化に関する施策、健康維持増進のための施策、中小企業の振興を図るための施策、そして、防災、安全を図るための施策などです。

これらについては、総合的区政の発展を図る見地から、積極的に新規事業を計画しました。

そして、この実施計画を具体化し、着実に実施していくことが、千代田区の基本目標とする「活気と安らぎのある調和のとれたまち」を形成することになります。

しかし、区政をとりまく環境は厳しく、また、区民の要望なども複雑多様化しており、これらに柔軟に対応し、施策を進めていくことが、行政の責務です。

したがって、この実施三か年計画は、区政をとりまく諸状況の変化に対応できるよう、さらには長期基本計画の後期事業に取りかかる情況を考え合せ、今後とも補完、見直しを行い、充実した計画としていきます。

※実施計画のくわしい内容は、「区のおしらせ」二月二十日号をご覧ください。

新年度予算の内容

昭和五十七年度の予算編成にあたっては、実施三か年計画の予算化を通じて、区政の推進と区民福祉の向上を図った年間総合予算を編成しました。

主な重点事業は、つぎのとおりです。

夜間人口の減少防止

住宅政策としては、九段下、四番町住宅に引続き、一番町、内神田に合せて九十余戸の区営住宅が完成し、総数で百二十二戸となります。

そして、住宅資金融資あっせん事業も、夜間人口の減少防止対策の柱としていきます。

公共住宅の誘致策として、大規模跡地の公共利用を図るための「マスタープラン」を作成し、公共機関の住宅建設を促進させます。

総合的施策をすすめるために、人口動態調査を行うなど、人口増加についても、総合的、科学的に施策を推進します。

社会福祉の向上

児童福祉施策としては、一番町住宅に併設して児童福祉施設が年内に完成し、開館します。

障害者対策として、区施設の整備改善を行い、利用しやすくするほか、実態調査を行い、心身障害者の実態の把握に努め、きめ細かな対応をしていきます。

さらに、障害者保育の制度化に取組み、また〝しおり〟を作成し日常生活に活用してもらうほか、寝具の乾燥事業の拡大も図っていきます。

おとしより対策としては、高齢者事業団に対する助成の充実や、ひとりぐらし老人に対するガス漏れ警報器の設置などを行います。

そのほかの対策として、病気療養のため、高額な費用が必要となったときに対応するため、応急資金に高額療養資金の貸付制度を新たに設けます。

教育・文化の充実

教育立区宣言として、「教育に関する都市宣言」を発表するにあたり、準備をすすめるとともに、伝統ある千代田の教育の向上に努めていきます。

学校教育の面については、一橋中学校の改築が八月に完成し、二学期から新校舎での授業が始まります。

また、老朽化した佐久間小学校の改築のための調査、設計を行うほか、学習環境の整備の一環として、小・中学校の図書館の冷房化を図ります。

また、麹町中学校のプールに加温器を設置するなど、設備面での整備充実を行っていきます。

教育内容の面では、地域に合った学校教育をすすめるための学習効果の分析を行い、また、帰国子女教育の充実を図ります。

さらに、副読本、準教科書の充実、校外施設のあり方の検討などを含め、学校環境の充実を図ります。

社会教育の面についても、区民の高度な学習意欲に応え、区民大学を新たに開校します。

さらに、不足している屋外スポーツ施設を確保するため、民間の屋外体育施設の借上げができるよう調査を行うなど、社会教育、社会体育両面の充実を図り、区民の期待に応えていきます。

中小企業の振興

中小企業者やそこに働くひとに対して、その福利厚生の増進を図る相互扶助制度としての共済制度を創設するため、準備、調査を行います。

商工融資対策としては、厳しい経済環境をふまえ、預託金を大幅に増額し、区民の営業活動を側面から援助します。

区民の健康増進

区民の健康を守るために、まず幼児の心身の発達にあわせ、五歳児健康診査を新たに実施します。

また、区民健康診査の年齢引下げを行い、対象者の拡大を図ります。

公衆浴場対策として、公衆浴場確保のため、浴場の改築に伴う借入金の利子補給を行うほか、新たに冬至の日に「ゆず湯」を実施し、その経費について助成を行います。

防災対策の充実

区民を災害から守る施策として、防災行政無線網の機能をさらに向上させるため、無線機の増設を図るとともに、災害に関する情報収集のため、ファクシミリを整備し、区民への正確な情報伝達が行われるようにします。

その他の事業

区民生活を快適に過ごすために、区民の環境美化と防災意識の高揚を図るため、カレンダーを作成し、全世帯に配布します。

区民生活を充実させるために、内職を希望する区民に、内職の相談およびあっせんを行い、きめ細かな区政をすすめていきます。

区民生活の環境整備としては、交通安全、道路整備の一環として、弁慶橋の架け替えを行うための調査を行います。

このほか、道路の改良による道路整備をはじめとして、歩道新設など交通安全施設の整備、さらに児童公園・遊園の整備など、区民が身近に利用している都市施設について、その維持整備の向上を図っていきます。

提出議案の主なもの

第一回区議会定例会に提案された議案のうち、主なものは、つぎのとおりです。

・昭和五十六年度一般会計補正予算第三号
総額十六億三千五百二十八万八千円

・昭和五十六年度国民健康保険事業会計補正予算第二号
総額二億三千二百二十三万一千円

・昭和五十七年度一般会計予算
総額二百二十億九千三百二十九万四千円

・昭和五十七年度国民健康保険事業会計予算
総額二十五億八百七十一万二千円

・東京都千代田区手数料条例の一部を改正する条例
証明手数料を改定するもの

・東京都千代田区応急資金貸付条例の一部を改正する条例
高額療養資金の貸付制度を設けるもの

・東京都千代田区児童育成手当条例の一部を改正する条例
児童手当法の一部改正に伴い特別手当を廃止するもの

お濠の水もぬるむ頃、桜のつぼみもそろそろ色づき始めます。

やがて、本格的な春の訪れを告げるお花見シーズン。

桜の花が、はなやかな姿を見せるのもこの時期だけです。

そして、その時期が短かければ短いほど、私たちは、年に一度しかない〝さくらの晴れの舞台〟を見とどけておきたいのかもしれません。

＊

ことしも四月一日(木)から十日(土)まで、恒例の「さくらまつり」が、靖国神社、神田神社、千鳥ヶ淵ガーデンロードで開催されます。

やわらかな春のひざしのなか、都内随一ともいわれる〝桜〟の晴れ舞台をご覧になってはいかがですか。

植木市

春の草花、盆栽や植木などが、展示・即売されます。

とき・ところ

・靖国神社境内
四月一日(木)から十日(土)まで

・神田神社境内
四月一日(木)から五日(月)まで

区内史跡めぐり

千代田区の代表的な名所、史跡をバスでまわります。

とき　四月三日(土)、四日(日)、十日(土)の三日間、いずれも午前十時、午後一時、三時の三回

出発場所　靖国神社境内の第二大鳥居前

定員　毎回百名（先着順）

コース　一周約一時間三十分
靖国神社→市ヶ谷→半蔵門→四ツ谷→清水谷公園→三宅坂→桜田門→日比谷→大手門→小川町→お茶の水→神田神社→万世橋→岩本町→駿河台下→神保町→九段→靖国神社

郷土芸能や歌謡ショー

四月二日(金)から四日(日)までの三日間、靖国神社境内で協賛団体による催物が行われます。

内容は、神田ばやし、明神太鼓などの郷土芸能や、新人歌手による歌謡ショーなどです。

なお、こどもさんには、風船やオモチャをプレゼントします。

問合せ　「さくらまつり」については、商工課観光係へ。

ご利用ください

内職の相談とあっせん

4月から開始

区では、4月から区民の方への内職の相談とあっせんを行うことになりました。

これは、区民のみなさんの生活の安定を図るとともに、区内中小企業の振興を図ることを目的に行うもので、これまでは江東区内職補導所で行っていましたが、昭和五十七年度から区が事務を引継いで行うことになりました。

事業主の方には、〝内職の求人情報〟を、どしどしお寄せいただくようお願いするとともに、内職を希望する区民の方のご利用をお待ちしています。

●内職を希望する方は…

内職のあっせんを希望する方は、まず登録をしてください。

登録できるひと　区内に住むひと

登録に必要なもの　住所を確認できるもの（健康保険証など）を持参してください。

●内職者をさがしている事業主の方は…

事業主の方には、働き手をさがすお手伝いをします。

また、求人条件にあったひとがいれば、すぐにあっせんいたします。

求人の申込み

あっせんが正確にできるよう、なるべく見本を持参してください。

●登録と求人情報の提供は…

内職を希望する方の登録の受付けと、事業主の方の求人情報の受付けは、つぎのとおりです。

受付時間

午前九時から午後四時三十分まで（土曜日は午前十一時三十分まで、日曜・祝日は休み）

受付場所・問合せ　商工課商工係

確定申告の内容が間違っていたら

▼申告の税金が納め過ぎになっていたり、還付を受ける税金が少なかった場合には――更正の請求を！

更正の請求は、法定の申告期限から一年間できます。

▼納めた税金が少なかったり、還付を受ける税金が多かった場合には――修正申告を！

修正申告の差額の税金については、三月十六日から納めた日までの期間に応じて、延滞税がかかります。

▼以上の手続きは一日でも早い方が有利です。各用紙は税務署に用意してあります。

くわしいことは左記へ問合せを。

麹町税務署　☎294－四五五一
神田税務署　☎294－四八一一

土地や家屋の評価額が確かめられます

ことしは、固定資産税の算出根拠となる土地や家屋の評価替えにあたり、新しい評価額が固定資産税台帳に記載されています。

縦覧期間　四月一日(木)～二十日(火)午前九時～午後五時（土曜日は正午まで、日曜日は休み）

縦覧できるひと　固定資産の所有者と、その関係者（関係者の場合は関係を証明する書類が必要）

縦覧場所　資産所在地の二十三区内都税事務所

なお、二十三区以外の地域の課税台帳の縦覧期日については、資産所在地の市町村役場に問合せを。

軽自動車などをお持ちの方へ

軽自動車税は、毎年四月一日現在、軽自動車などを所有しているひとに課税されます。

軽自動車などの廃車や名義変更などの手続きをしていませんと課税の対象となりますのでご注意ください。**問合せは左記へ。**

原動機付自転車・小型特殊自動車・区役所税務課課税第二係

二輪小型自動車・軽二輪
・東京都陸運事務所☎471－六三一一

軽自動車
・軽自動車検査協会☎472－一五六一

ことしはどの科目を選びますか？

春の婦人教養講座

申込みは4月13日㈫から●直接各出張所で

春の婦人教養講座が、各区民会館で開催されます。

講座の種類は、料理、書道、墨絵などのほか、新しくヨーガを加え、趣味を豊かにし、生活にも役立つ十の講座です。

みなさんの生活の中に、週一回のこの講座を加えて、充実した日日を計画なさってはいかがですか。

期　間　四月第四週から七月第三週までの週一回（祝日は除く）延十二回

時　間　午後一時三十分から三時三十分まで（ただし、番町区民会館で行うペン習字と、富士見区民会館で行う料理、墨絵の三講座は、午前十時から正午まで）

会　場　各区民会館（希望する会館で受講できます）

受講できるひと　区内に住む婦人

受講科　無料（教材費は自己負担）

申込み　四月十三日㈫から、受講を希望する区民会館（出張所）で申込みの受付けをします。初めて受講するひとは午後一時三十分から、以前受講したことのあるひとは午後二時から、それぞれ申込んでください。

●春の婦人教養講座

科目	会場（区民会館）	曜日（毎週）	定員	開講日
料理	富士見	木	24名	4月22日
	神保町	火		4月20日
	万世橋	金	30名	4月23日
	和泉橋	木	24名	4月22日
書道	番町	金	40名	4月23日
	神保町	木	35名	4月22日
	神田公園	金		4月23日
	和泉橋	火	40名	4月20日
墨絵	富士見	月	30名	4月19日
	万世橋			
ペン習字	番町	月	40名	4月19日
	富士見	火	35名	4月20日
茶道	番町	水	25名	4月21日
	和泉橋			
編物・手芸	富士見	水	30名	4月21日
編物	神田公園	火	30名	4月20日
ヨーガ	番町	水	30名	4月21日
着付	神保町	水	40名	4月21日
洋裁	万世橋	火	30名	4月20日

なお、番町区民会館で行うペン習字と、富士見区民会館で行う料理、墨絵の三講座は、午前十時から受付けます。

なお、講座は一人一科目までで、電話での申込みはできません。

問合せ

番町出張所　☎263―三八三一
富士見出張所　☎263―三八四一
神保町出張所　☎263―〇七四一
神田公園出張所　☎252―七六九一
万世橋出張所　☎251―四六九一
和泉橋出張所　☎253―四九三一

九段・内神田社会教育会館の グループ・サークル活動に参加してみませんか

区には、九段と内神田の二か所に社会教育会館があります。

この社会教育会館は、みなさんの社会教育活動の場として、区が開催する講座などに使われるほか、ギター、生花、お茶、料理、油絵、などのグループや、サークル、同好会の方がたも利用しています。

みなさんも、こうした活動に参加してみませんか。

くわしくは、九段社会教育会館（〒102千代田区九段南一―五―十☎234―二八四一）、内神田社会教育会館（〒101千代田区内神田二―一―八☎256―八四四四、総合体育館七・八階）に問合せてください。

道路は正しく使いましょう！ 袖看板や商品置場などは あらかじめ道路占用の許可を

街を歩いていると、道路上に突出して取付けてある看板や、歩道上に置かれている商品などが、通行のさまたげとなっているのを見かけます。なかには、街の美観をそこねているものもあります。

これらの袖看板や日よけなどを取付けるには、道路の占用許可を受けなければなりません。

道路はみんなのもの。

安心して歩ける住みよい街をめざして、道路は正しく使いましょう

道路占用の継続申請を

袖看板、電話線やテレビ電波障害解消用架空線、埋設管線、日よけ、商品置場、救助袋用固定環、装飾街路灯などの道路占用許可は、三月三十一日で期限がきれます。

そのまま道路占用を続ける方は、占用の継続申請をしてください。

申請書は、三月中には届くように郵送してありますが、まだ届いていない場合などは、担当係へ問合せてください。

袖看板を道路上に突出して取付ける場合

袖看板などを道路上に突出して取付ける場合は、つぎのことに注意してください。

①取付けができるものは、自家用の看板に限ります。自家用以外の看板には占用許可は出しません。

②一営業所、一事業所二個以内。

③看板の高さはつぎのとおりです。

歩道上は路面から看板の下端まで三・五㍍以上あること

車道上は路面から看板の下端まで四・五㍍以上あること

④路上に出てもいい幅は一㍍以内です。また、路上に出ている幅が〇・五㍍以内の場合は、路面から看板の下端まで二・五㍍以上でもかまいません。

※**ご注意**　道路上に突出して看板を取付ける場合は、道路の占用許可が必要です。

まだ、許可を受けていない方は、至急手続きをしてください。

また、袖看板に限らず屋外に広告物を出す場合は、屋外広告物の規制を受けます。私有地であっても**屋外広告物許可が**必要です。

なお、用途地域によって規制が異なりますので、くわしいことは東京都都市計画局建築指導部監理課（☎212―五一一一内線二五四一三）へ問合せてください。

問合せ　土木部管理課占用係

おしらせ

保健所だより

■**乳がん検診**（予約制）
とき　4月5日(月)午後1時30分～3時
ところ　麹町保健所
対象　区内に住む30歳以上の女性
なお、生理の始まる1週間前から、生理が終るまでの期間は受診できません。また、受診するときは、上半身が脱衣できる服装でおいでください。
定員　30名（先着順）
受診料　無料
持参するもの　バスタオル1本
申込み　麹町保健所☎212－7814

■**子宮がん検診**
とき　4月27日(火)午前9時
ところ　東京都がん検診センター
対象　区内に住む30歳以上の女性25名（先着順）
申込み　麹町保健所☎212－7814

■**胃の集団検診**
とき　4月30日(金)午前10時～11時
ところ　東京都がん検診センター
対象　35歳以上の区民26名（先着順）
申込み　神田保健所☎291－3641

■**春の定期予防接種**
神田保健所では、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）と小児まひ生ワクチンの春の定期予防接種を、つぎの表のとおり実施します。

種別			実施日	対象者
三種混合	第1期	1回目	4月14日(水)	昭和54年10月1日から55年3月31日までの出生者
		2回目	5月12日(水)	
		3回目	6月9日(水)	
	第2期		6月30日(水)	昭和53年10月1日から54年3月31日までの出生者で56年春の第1期完了者
小児まひ	1回目		5月19日(水)	昭和56年7月1日から56年12月31日までの出生者
	2回目		4月21日(水)	昭和56年1月1日から56年6月30日までの出生者
	予備日		5月26日(水)	上記の日に受けられなかったひと

とき・ところ　午後1時30分から3時30分まで、神田医師会館で
問合せ　神田保健所予防課業務係☎291－3641
※なお、麹町保健所管内の定期予防接種については、決り次第「区のおしらせ」でお知らせします。

■**栄養相談**
とき　4月9日(金)、23日(金)、午後1時30分～4時
ところ　神田保健所
対象　食事療法を必要とする区内在住・在勤者5名（先着順）
申込み　神田保健所☎291－3641

児童館だより

■**劇をみよう！**　☎234－3084
3月24日(水)午後3時から「じっちゃとまめだぬき」「みんなでうたおう」（劇団ともしび公演）
富士見児童館　☎262－1040
■**観劇会**　3月26日(金)午後2時から人形劇「怪獣ドボダボ、銀河のセールスマン」ほか
神田児童館　☎253－6021
■**春休みこども劇場**　①人形劇3月27日(土)午後2時から「小さなトムトム」「バラエティー」ほか（劇団ブーク公演）②映画3月31日(水)午後2時から「のどか森の動物大作戦」

老人福祉センター ☎265－3981

■**講演会**
とき　3月30日(火)午後1時30分
テーマ　いつまでも美しく―中年すぎこそおしゃれを―
講師　美容研究家　大滝英子氏
■**桜まつり素人演芸会**
とき　4月3日(土)午後1時から
内容　歌、踊り、詩吟、手品など
参加申込み　60歳以上の区民ならどなたでも参加できます。ただし、一人1回5分以内。3月25日(木)から受付けます。

野外こども会

■**4月の野外こども会**
5日(月)＝錦華公園　6日(火)＝神田児童公園　7日(水)＝佐久間公園　8日(木)＝平河天神(児)　9日(金)＝富士見出張所ヒロティー　12日(月)＝東郷元帥記念公園　13日(火)＝芳林公園　14日(水)＝西神田公園　15日(木)＝岩本町二丁目(児)　16日(金)＝筑土神社　19日(月)＝佐久間公園　20日(火)＝神田児童公園　21日(水)＝錦華公園　22日(木)＝心法寺(児)　23日(金)＝西神田公園　26日(月)＝北の丸公園皇宮警察寮庭　27日(火)＝東郷元帥記念公園　28日(水)＝龍関(児)
いずれも午後2時から3時30分まで。内容は絵合せ、ミニ運動会なお、雨天・強風の場合は中止。

官公庁だより

■**神田清掃事務所が移転しました**
3月1日から神田清掃事務所が移転しました。
移転先　〒101千代田区外神田1－1－6　☎251－0566

区長にひとこと電話でどうぞ
「ハイ！区長です」☎264－0151
毎月1日・15日　午前10時～11時30分

個人で事業をしているひとに
生業資金＝70万円まで
お早めに申込みを
貸付が受けられるひと
・区内に一年以上住んでいるひと
・連帯保証人がいるひと
・住民税を完納しているひと
貸付限度額　70万円（特別な場合には80万円）
利率　年3・65％
返済方法　6か月据置後、54か月の均等返済
申込期限　3月25日(木)まで
申込み・問合せ　福祉課厚生係

国民年金

■**国民年金保険料が4月から変ります**
国民年金の保険料のうち定額保険料の額が4月から**月額5千220円**となります。（3月まで4千500円）
なお、付加保険料の額はこれまでどおり月額400円です。
また、1年分（昭和57年4月分～58年3月分）を前納される方には、つぎのとおり割引きがあります。
・定額保険料　年額6万1千130円（割引き額1千510円）
・付加保険料　年額4千680円（割引き額120円）

■**保険料の納め忘れはありませんか？**
昭和56年度分（56年4月～57年3月）の国民年金保険料の最終納期は、4月30日(金)です。
納め忘れている期間のあるひとは、4月中に必ず納めてください。
最終納期を過ぎるとお手元の納付書では納められなくなります。
なお、納付書のないひとは、ご連絡ください。すぐお送りします。
納め忘れの期間があると、万一の事故のとき、母子年金や障害年金が受けられなくなったり、老齢年金を受ける際の資格期間が不足することもありますので、ご注意を！

■**保険料の"口座振替"をご利用ください**
保険料の納め忘れをしないために、保険料の払込みには、ぜひ、"口座振替"をご利用ください。
口座振替の手続きは、年金手帳と預金に使う印かんをもって、区内の金融機関へ申込んでください。
なお、区外の金融機関を希望するときは、ご連絡ください。
問合せ　国民年金課

ごあんない

■**箱根・湯河原千代田荘**
4月・5月の利用できない日
4月と5月の利用できない日は、つぎのとおりです。
箱根千代田荘
・4月13日(火)、14日(水)、17日(土)、27日(火)～30日(金)
・5月11日(火)、12日(水)、25日(火)～28日(金)
湯河原千代田荘
・4月7日(水)～9日(金)、21日(水)
・5月5日(水)～7日(金)、19日(水)
問合せ　区民課区民係

■**図書館の貸出券**
忘れずに登録がえを
4月1日(木)から貸出券の登録がえの受付けを始めます。
手続きは、千代田区に在住、在勤、または在学を証明するもの（身分証明書、健康保険証、学生証など）を持参すれば、すぐに登録できます。なお、レコードの貸出券の手続きには、カートリッジも持参してください。
お手元の貸出券は、3月31日(水)まで有効です。16ミリフィルムおよび映写機関係も登録がえとなります。
問合せ　千代田図書館

みんなで スポーツを

■**みんな元気で歩こう会**
とき　4月4日(日)午前9時30分
区役所前出発
コース　皇居の内濠1周約6キロ
区役所前―千鳥ヶ淵―半蔵門―桜田門―霞橋―竹橋―千鳥ヶ淵
参加資格　区内在住・在勤者
参加費　無料
申込み・問合せ　参加希望者は当日の午前8時30分から受付けますので区役所前においでください。
問合せ　社会教育課体育係
■**陸上競技選手権大会**
とき　4月18日(日)午前9時30分
集合、10時競技開始（雨天決行）
ところ　代々木公園陸上競技場
参加資格　区内在住・在勤者
種目　在住男子の部は100メートル、1千500メートル、5千メートル、400メートルリレー、走幅跳。在勤・在学男子の部は100メートル、400メートル、1千500メートル、5千メートル、800メートルリレー、走幅跳、砲丸投。女子の部は100メートル、1千500メートル、400メートルリレー、走幅跳、砲丸投。
出場制限　一人2種目まで（リレーは除く）
申込み・問合せ　4月8日(木)までに社会教育課体育係へ。
■**ふなつり大会**
とき　4月18日(日)午前1時国電秋葉原駅西口広場集合
ところ　西浦干拓中州、麻生方面
参加資格　区内在住・在勤者
募集人員　100名（先着順）
参加費　3千円（往復バス代など。ただし、エサ、弁当は各自持参）
申込み・問合せ　4月10日(土)の正午までに参加費を添えて社会教育課体育係へ。

青果物消費者サービスデー
4月1日(木)・15日(木)
青いノボリの八百屋さんで
豚肉消費者サービスデー
4月9日(金)
赤いノボリの肉屋さんで
魚の消費者サービスデー
4月14日(水)・28日(水)
濃紺のノボリの魚屋さんで

4月の休日診療当番医（内科・小児科）

診療時間：午前9時～午後10時　（昼）印は午後5時まで　（夜）印は午後5時～10時

4日	永井医院	☎261－1777	九段南4－6－13
	興生診療所	☎252－0009	内神田3－4－11
11日	大森胃腸科	☎234－6226	隼町2－15
	（昼）神田クリニック	☎252－0621	内神田3－15－4
	（夜）同和病院	☎251－2141	神田淡路町2－8
18日	小川医院	☎261－1413	飯田橋1－10－7
	神田医院	☎252－8896	鍛冶町1－8－14
25日	中島医院	☎261－9319	隼町3－11
	（昼）旭町診療所	☎252－5821	内神田3－11－10
	（夜）同和病院	☎251－2141	神田淡路町2－8
29日	広瀬クリニカ	☎234－1357	一番町21－3（ルミナス一番町101号）
	（昼）岩本町診療所	☎851－8643	岩本町3－4－1
	（夜）同和病院	☎251－2141	神田淡路町2－8

・健康保険証は必ずお持ちください。
・受診するときは、あらかじめ電話で問合せてください。
・休日診療についての問合せは、いつでも区役所か出張所へ。

救急　夜間・休日の急病は
夜間や休日に急病になったときは、つぎのところへ連絡してください。病院などを紹介します。
消防庁テレホンサービス
☎212－2323
東京都衛生局夜間・休日案内所
夜間（午後5時～翌朝9時）☎216－4828
休日（午前9時～午後5時）☎216－4820

住んでるひとも
通勤しているひとも

みんなで応募しよう
環境週間にちなむ 標語とイラスト

締切りは5月10日

住みよい環境を守り、よりよくしていくことは、私たちの生命や健康にかかわる大切な問題です。

国連が定めた六月五日の「世界環境デー」にちなんで、わが国でも毎年六月五日から十一日までの一週間を「環境週間」として、快適な環境づくりを目指して、全国的にさまざまな行事が行われています。

ことしは十年目を迎えますが、千代田区では、環境美化の問題をいっそう身近なものとして理解してもらおうと、みなさんから標語とイラストを募集します。

千代田区は、東京の顔として外国や地方のひとびとが多く訪れてくるところです。

また、会社や学校に通うひとも多く、昼間の人口が百十数万人ともいわれています。

ですから、千代田区の美化は、そこに住むひとだけではなく、勤めているひとにもいっしょに考えてもらい、協力してもらうことが大切です。

募集にあたっては、千代田区内に在住、または、在学・在勤する方であれば、どなたでも応募できますので、募集要領をよく読んでふるってご応募ください。

また、この機会に、ご家族で力作や傑作を競ってみてはいかがでしょうか。

募集要領

☆**内　容**

・**標語の部**
環境美化一般をテーマに、二百字詰原稿用紙に標語を一枚につき一点を書き、余白に住所、氏名、年齢、性別、電話番号、学校名・勤務先（名称、所在地、電話番号）を記入してください。

・**イラストレーションの部**
環境美化一般をテーマに、B4またはB5版ケント紙か画用紙に黒一色でイラストを一枚につき一点を描き、裏面に住所、氏名、年齢、性別、電話番号、学校名・勤務先（名称、所在地、電話番号）を記入してください。

☆**応募資格**　千代田区内に在住、または、在学・在勤するひと

☆**応募方法**　区内の出張所または区役所環境部環境課窓口へ直接お持ちになるか、郵送してください。

☆**締切り**　五月十日(月)（当日消印有効）

☆**郵送先・問合先**　千代田区役所環境部環境課（〒102千代田区九段南一－六－十一）へ。

☆**賞**　標語の部、イラストの部とも小・中学生、学生、一般の三部門に分け、それぞれ優秀作品を選定し賞状および記念品を贈ります。また、参加者全員にも記念品を贈ります。

☆**発　表**　六月五日号の「区のおしらせ」（予定）

☆**摘　要**
・作品は未発表のものに限ります。
・用紙については、出張所および環境課に準備してありますが、市販のものでも構いません。
・応募いただいた作品は、環境週間をはじめ環境行政の各種広報・関係印刷物などに使用させていただくことがあります。
・著作権は主催者である千代田区役所環境部環境課に属し、応募いただいた作品はお返ししませんのでご注意下さい。

＊

―標語例―

まちの美を
つくろう住む人通う人

―イラスト例―

やさしく走ろう TOKYO

やさしさと思いやりのある運転。一人ひとりがそんな運転を心掛け、実行しましょう。

春の全国交通安全運動
④月⑥日～⑮日

四月六日から「春の全国交通安全運動」が始まります。

この時期になると、こどもたちが元気に動きまわり、伸び伸びと遊んでいる姿をよく見かけます。

そして、四月はかわいらしい新入学(園)児もみんなの仲間入りをして、新しい環境のもとでの生活が始まるときでもあります。

また、このような時期には、交通事故が増える傾向がみられます。

そこで、こどもたちを、痛ましい交通事故から守るために、つぎのことを必ず実行しましょう。

ドライバーのみなさんへ

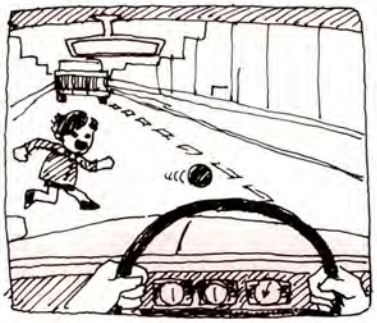
★こどもから目を離さないで！

こどもは、一つのことに関心が向くと、ほかのものは目に入りません。そのため、急に飛び出したりします。

こどもを見かけたときは、目を離さず、こどもの動きに十分注意しましょう。

★スピードは控えめに！

裏通りを走るときや、見通しの悪い交差点などに近づいたときは、こどもたちが急に飛出してもすぐに止まれるように、スピードを落して運転しましょう。



★発進するときは まわりの安全確認を！

車のまわりにこどもがいないことを確かめてから発進するようにしましょう。

千代田区ビデオ広報

わがまち千代田

第24号（3月号）放映中

まちの話題や行事など、広報課までお知らせください。

表彰された各界功労者と優良従業員

千代田三十五周年記念表彰式が、三月十五日、千代田区公会堂で行われ、いろいろな分野で区政に功労のあった三百五十五名の方と八団体が表彰されました。

また、翌十六日には、区内の商店、事業所などに勤めている従業員三百六十九名の方が、優良従業員として表彰されました。

千代田区三十五周年記念で表彰された方々（敬称略）

■特別区政功労者

千代田区議会議員 中川孝夫
〃 杉田のぶ

■区政功労者

千代田区議会議員 林 憬
〃 鈴木栄一
教育委員会委員 市村道徳
選挙管理委員会委員長 小要利雄
選挙管理委員会委員 金丸孝義
〃 小椋正二
〃 中村正男
監査委員 土田茂雄
〃 藤井芳郎
法律相談員 戸村一正
〃 溝口喜文
教育研究所講師 南光進一郎
〃 武村信義
高額寄付者 野田宗典
〃 西郷之厚
〃 中山三郎平
〃 立岩邦男
〃 中村ミサヲ
〃 飯塚健治
〃 大島義愛
〃 安井正
〃 荒木義朗
高額寄付者 大谷米一
〃 小高滋
〃 伊藤達二
〃 小林與三次
〃 安川七郎
〃 東条重男
〃 高橋賢介
〃 中村俊男
〃 田村訓久
〃 飛島斉
〃 大島栄寿
〃 大木恒四郎
〃 谷口正治
〃 山田澤三
〃 塩谷忠男
〃 乗杉恂
〃 小林茂
〃 前田又兵衛
〃 大石重成
〃 古屋哲男
〃 野沢太一郎
〃 村本周三
〃 山中鉄夫
〃 石川晴彦
〃 丸山宰
〃 廣瀬元夫
〃 成田源一郎
〃 黒真一
〃 石沢亀之助
高額寄付者 赤司俊雄
〃 豊田章一郎
〃 東京オペラ
〃 丸の内ブラス
〃 東京ウィンドクワイア
〃 株式会社花の企画

■町会自治功労者

有楽町町会会長 伊藤弘
内幸町町会会長 及川実
平河町一丁目町会会長 吉田一彦
婦人部長 南山きぬ
麹町三丁目町会会長 吉野大
麹町四丁目町会婦人部長 櫻井啓子
麹町五丁目町会会長 湯田忠義
一番町町会会長 小田敏生
一番町町会婦人部長 寺井歳子
三番町町会婦人部長 渡遣ミヨノ
九段一丁目町会会長 木村義一
富士見二丁目町会会長 桑原慶一
富士見二丁目町会婦人部長 高梨きよ
飯田町一丁目町会副会長 福岡作次郎
飯田橋町会副会長 中條清司
竹平代官町町会長 森野武夫
神保町一丁目町会副会長 籟宇恵雄
神保町一丁目北部会副会長 黒政康次
神西町会副会長 古性誠
西神田町会副会長 太田光栄
三崎町町会副会長 奥山源太郎
猿楽町町会副会長 上山稔
一神町会副会長 石井清
神田公園地区連合会長 鳴海貞蔵
錦町三丁目町会婦人部長 井口イマ
小川町一丁目南部会副会長 佐藤美雄
小川町北部二丁目会長 大宮松三
小川町北三町会会長 佐宗孝雄
司一会町会会長 吉澤榮一
司町二丁目町会副会長 萩原徳太郎
内神田鎌倉町会副会長 栗原はな
須田町一丁目南部会婦人部長 守安晴子
須田町中部町会副会長 南出竹久
外神田一丁目万世橋会婦人部長 井上百合子
外神田三丁目金沢会長 大瀬知
外神田六丁目町会副会長 高橋新太郎
外住町会会長 今井忠
松枝町会会長 八木孝三
外神田四丁目田代会副会長 土屋鴻
外神田五丁目佐久町会会長 隠岐孝治郎
神田駅東連合町会会長 平野宣朗
鍛冶町二丁目町会副会長 秋山昌雄
鍛冶町二丁目町会長 神崎孝一
紺屋町北部町会町会長 吉本さと子
富山町町会婦人部長 鈴木一男
須田町二丁目町会婦人部長 中川せい
須田町二丁目町会長 夏目喜八
岩本町三丁目町会長 佐藤東助
岩本町二丁目岩井会副町会長 金枝新次
大和町会町会長 若林泰子
佐久間町一丁目町会婦人部長 佐々木四郎
佐久二平河町会町会長 高山昭一
東神田三丁目町会長 久保田喜三郎
和泉町町会会長

■教育功労者

〔学校保健衛生〕
鎌倉臨海学園校医 佐古正徳
番町小学校学校医 田中更士
麹町小学校学校医 野田真男
永田町小学校学校医 中島稱吉
永田町小学校学校医 大森寂圓
錦華小学校学校医 加賀達也
西神田小学校学校医 斉藤義治
佐久間小学校学校医 長谷川泰
麹町中学校学校医 佐々木俊夫
九段中学校学校医 鈴木徳重
一橋中学校学校医 大貫裕康
一橋中学校学校医 池松静香

〔社会体育〕
体育指導委員 村田芳三
〃 南保孝志
〃 久門治人
スポーツ開放指導員 戸張孝次郎
スポーツ開放指導員 布施伸二
〃 大井節子
〃 早川祥江
〃 平田公一
〃 宅原清治
〃 服部秀亮
千代田区釣友連盟顧問 斉藤子之吉
千代田区陸上競技協会副理事長 鈴木敏夫
千代田区ラジオ体操会連盟副会長 高橋保夫
千代田区バスケットボール協会副会長 片山隆三郎
千代田区庭球連盟副理事長 田宮文夫
千代田区立総合体育館指導員 中嶋榮
〃 田村三義
〃 森屋昭夫
〃 伊東要
〃 高井光弘
〃 浜田勝己
〃 玉手庸
〃 佐藤博之
〃 南出進
〃 和野正

〔社会教育〕
郷土資料調査員 村田桂一
〃 永井幸子
千代田区青少年委員 八木孝三
〃 大塚金太郎
千代田区婦人学習グループ連絡会委員代表 森玲子
神田生活学校運営委員 須田ふさ江
千代田区青年団体協議会副会長 阿部国行
千代田区青年団体協議会 豊島美雄
千代田区少年少女団体指導者連絡協議会常任理事 松本香子
〃 宮田千代子
〃 小林貞枝
〃 近藤美和子
千代田区海洋少年団教官 富川実
〃 世取山浩
〃 豊田富男
〃 加藤達郎
〃 岩上広志

ボーイスカウト第1団委員長　野口照雄
ボーイスカウト第4団委員長　新庄勝助
ボーイスカウト第6団委員長　小林昇
ガールスカウト東京第125団参与　武政アヤ子
千代田区区民囲碁大会審判長　小林光一
自主グループ哲学サークル講師　福田定良
神田囃子保存会会長　青山栄二郎
社会教育協力者　笹井昭孝
〃　藤野登

〔私学振興〕

ルーテル英語学院校長　吉川倉治
日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校教務事務主任　湖上延子

■商工観光功労者

〔商工〕

千代田区商店街連合会常任理事　富岡実
〃　青木稔
千代田区商店街連合会理事　三枝虎一
神田専門店会専務理事　小池融
神田専門店会常任監事　木村久彌
神田専門店会副理事長　樋谷猛男
秋葉原駅前電気商連合会顧問　野村誠一
東京都魚商業協同組合麹町支部副支部長　金森金一郎
東京都魚商業協同組合神田支部副支部長　福島正夫
麹町米穀商小売組合副組合長　関太郎
神田米穀商組合理事　高田芳郎
東京都食肉環境衛生同業組合麹町支部支部長　吉野大
東京都食肉環境衛生同業組合神田支部副支部長　樋口浩一
東京神田青果物商業協同組合麹町支部支部長　河原一義
東京神田青果物商業協同組合神田支部理事　黒井由男
千代田区工業団体連合会副会長　牧諒吉
〃　福山正雄
〃　藤田達夫
千代田区工業団体連合会理事　西田新太郎

〔観光〕

千代田区観光協会副会長　木村義一
千代田区観光協会常任理事　伊藤弘
千代田区郷土史家　喜多川周之

■社会福祉功労者

民生・児童委員　中村正男
民生・児童委員　田中久
〃　結城春子
〃　鈴木徳治
〃　小林實榮子
〃　高田兵城
〃　濱谷美江子
〃　佐藤清治
千代田区保護司　遠藤芳江
〃　大塚金太郎
〃　吉澤榮一
〃　稲垣とし
〃　岡江四郎
〃　柴田カヅ子
〃　堤歌子
〃　吉川義一
千代田区更正保護婦人会理事　吉川房子
〃　平塚まき
〃　清水よね
〃　畑山マツイ
千代田区社会福祉協議会理事　久保田辰哉
身体障害者相談員　小林敬次
神保町地区長寿会会長　外山岩太
和泉橋菊寿会会長　木内友三
麹町長寿会会長　小林定
前千代田区家庭福祉員　小林こと
ねたきり老人奉仕者　北村利
友愛訪問員　辻多喜子
富士見福祉会館嘱託医　竹内孝仁
富士見福祉会館嘱託理学療法士　岡安正夫
富士見福祉会館講習会講師　菊池晴子
〃　木全榮子
〃　増渕三郎
〃　御武内貞子
老人福祉センター講習会講師　荒井孝
〃　永井幸子
〃　高橋範二
〃　今村桜子
老人福祉センター指圧事業奉仕者　山口忠治
前神田地区青少年補導連絡会会長　千田杏三
丸の内地区青少年補導連絡会委員　石塚恒男
〃　小川裕造
飯田橋保育園嘱託医　赤川セツ
麹町保育園嘱託医　永井東一
西神田保育園嘱託医　松本良二
神田保育園嘱託医　大塩亮
自立更正者　光来出喜一
〃　能島きよ
社会福祉協力者　株式会社加藤製函印刷

■環境美化功労者

飯田勝次郎
遠藤乃夫
須藤源平
五島治雄
沼田晃
齋田春子
村上利吉
武田卓次郎
富士正則

■事務事業協力者

統計調査事務協力者　岩野眞雄
〃　田中守三
〃　佐藤東助
〃　福島英一
〃　中村信夫
〃　小川喜一
〃　守屋勝雄
〃　豊田与四郎
〃　加藤金治
〃　渡邊修
〃　石川吉正
〃　五島治男
〃　植村喜八郎
〃　丸山芳之助
〃　中村俊一
〃　都築好子
〃　松栄勲
〃　松井栄治
〃　山田和夫
統計調査事務協力者　藤田勲
〃　齋藤ちや子
〃　越塚眞行
選挙事務協力者　佐藤袈裟男
〃　高井米昨
〃　遠藤達蔵
〃　小川裕造
〃　塩寺金三郎
〃　青山清春
〃　小林三郎
〃　香村美子
〃　山田龍吉
〃　加藤隆之
〃　入部勇了
〃　福岡戸

■納税功労者

飯田町納税貯蓄組合組合長　小川喜一
神田美土代町納税貯蓄組合組合長　江沢隆二
法人古書籍業納税貯蓄組合組合長　平尾幸豊
鈴蘭通り納税貯蓄組合組合長　青木寅吉
錦三第一納税貯蓄組合組合長　中田廣之
九段一丁目納税貯蓄組合組合長　河西良十
九段三業納税貯蓄組合会長　平井一雄
猿楽町納税貯蓄組合組合長　杉森實
神田料飲納税貯蓄組合組合長　高野文一
神田第二納税貯蓄組合組合長　矢嶋三朗
神田たばこ商業協同組合
芝たばこ商業協同組合千代田部会

■保健衛生功労者

千代田区医師会理事　野田真男
神田医師会監事　吉元信夫
公衆衛生協力医　五味ミキ
〃　小林八州男
〃　梶浦正枝
公衆衛生協力獣医　金原米雄
前麹町保健所運営協議会会長　小林太郎
麹町保健所運営協議会委員　西村宏一
〃　藤村ヤエ
神田保健所運営協議会委員　川俣光勝
神田保健所運営協議会委員　隠岐孝治郎
千代田区公害健康被害認定審査会委員　百瀬達也
〃　光永慶吉
千代田区公害健康被害診療報酬審査会委員　鈴木豊明
〃　長竹義昌
神田保健衛生協力委員会副会長　田村貞吉
神田保健衛生協力委員会常任理事　吉田繁
〃　露崎伊三郎
麹町地区保健衛生協力委員　上西利夫
〃　石川八太郎
神田地区保健衛生協力委員　秋山耕造
公衆衛生協力者　長谷川龍一
〃　須丹礼アーネスト
〃　籠谷竹雄
〃　吉田義美
〃　島稔
〃　中島祥行
〃　木佐貫喜美子
〃　羽田野ハツメ
〃　山野井浪
麹町食品衛生協会常任理事　笠原清明
〃　兵頭豊明
神田食品衛生協会総務部長　高橋武男
神田食品衛生協会指導部長　根本定市
麹町環境衛生協会副会長　鳥居佑之介
神田環境衛生協会副会長　大瀧知
麹町食品衛生協会
神田食品衛生協会

■消防団功労者

丸の内消防団分団長　丸山晴幸
丸の内消防団部長　小川禎亮
丸の内消防団班長　齋藤浩二
〃　阿部護夫
〃　鈴木昭一
〃　船橋守夫
丸の内消防団団員　須貝文平
麹町消防団団長　木村義一
麹町消防団副分団長　小出惣治
麹町消防団部長　濱田忠志

麹町消防団団員　井上恵介
〃　野寺義光
〃　鎌倉良夫
〃　田中俊雄
〃　金森一博
神田消防団部長　西村吉勝
〃　増岡武男
〃　早乙女一男
〃　伊藤幸雄
〃　柴田喜一郎
〃　今井一博
〃　西出幸二

表彰された優良従業員（敬称略）

丸の内新聞事業協同組合　村田静喜
〃　日高初穂
鳥かつ　関根賢六
田むら　桜井英雄
㈱芳賀書店　柳澤秀晃
〃　藤田豊記
㈲河之商店　亀井宏三
福田屋染物店　太田訥生
㈲河之商店　斉藤剛男
〃　星野章
キリン堂ファーマシー　五十嵐好子
飯塚紙工所　近藤悟
㈱志村薬局　今田幸子
キヨコ美容室　末永忠史
〃　宮野京子
コマ美容室　藤田邦子
コボリ美容室　井上祥江
〃　望月三枝子
㈱富士洋服店　村山和三
㈱栃木屋　佐藤豊明
〃　本郷美也子
丸の内食糧㈱　三沢健一
麹町米穀販売㈱永田町販売所　福士修三
〃　町田克
千代田ビルサービス㈱　吉田友耕
〃　大島玉江
㈱江ノ島水族館　石井俊也
㈱山村マーチャンダイス　池田収
㈱まいづる　村山和章
㈱紙業新聞社　田窪光子
〃　中西弘子
松本トレーディングコンパニー　神田知代
㈱沢本時計店　茂木守
松本トレーディングコンパニー　木川睦子
新世界菜館　林茂樹
ぶん華　佐藤由夫
新華飯店　松本幸司
東英石油㈱　武井勝治
〃　杉本勇
八光電気㈱　印南敏幸
〃　稲田二郎
〃　矢野隆文
㈱新光商会　三浦寿幸
サンロイヤル　三浦ユリ
いもや　樋口やすの
のぶ子　磯房子
華福　黒木均
〃　川口利夫
YMCA食堂　横田芳夫
〃　塩谷富美子
神田飲食総合組合　新生一郎
三好弥　内藤陽子
トップ　阿部礼子
たなか　大野成志
共栄堂　安野元朗
くるみ　池田法正
珈琲屋　平畑シズエ
かつ進　辻浦峰博
〃　中村真二
神田飯店　山口義彦
カド　亀井哲子
ナガシマ　君塚かず子
生駒軒　川上スエ
神田パブエアーライン　秋葉孝文
江戸銀　伊藤正敏
高木㈱　島田笑美子
〃　福岡博
㈱宮鋼　門井仁平
㈱原菊商店　笠原勝市
〃　松本幹彦
山谷産業㈱　黒坂典雄
〃　広瀬忠
〃　五十嵐博治
サトウスチール㈱　海保征三郎
〃　佐藤栄
〃　藤田利広
㈱東京商会　森健一
〃　浅野起男
〃　田中章
矢口建材加工㈱　青砥八郎
〃　榊見善智
〃　佐川順一
稲垣商事㈱　萩原靖昭
〃　増田道義
〃　辻陵治
新村印刷㈱　冨士稔
〃　田中英司
〃　須藤一男
奥村印刷㈱　須貝猛
〃　三浦芳春
〃　戸村晋
〃　村上政行
㈱洋文社　上阪政信
〃　逸見清和
冨士印刷㈱　早川泰明
〃　川名福太郎
吉田山勝堂㈱　田中靖之
〃　近藤哲男
杉田屋印刷㈱　後関輝雄
〃　鈴木マキ
杉田屋印刷㈱　田村和夫
〃　伊代野勝秋
〃　細田勝義
〃　吉田浩司
〃　森孝
〃　松尾幸蔵
㈱精興社　水上賢
〃　宇田川東二
〃　渡辺仁
〃　二木義明
〃　染谷敏明
〃　新井進
〃　碩忠雄
〃　西野信夫
〃　杉山政吉
〃　古川欽哉
東洋美術印刷㈱　伊藤信太郎
〃　遠藤登美
〃　千田清憲
〃　阿部次雄
〃　岩渕保
金正印刷㈱　鞍川吉雄
〃　定形雄輔
㈱明正社　太田茂
〃　太田嶺子
〃　樋口よしい
〃　上田清子
〃　太田昭
㈱永井印刷所　永井邦良
〃　渡辺都
〃　新田静枝
㈱同美印刷　長谷川紀一
〃　本谷行弘
〃　望月五郎
〃　渡辺金蔵
〃　市村幸二
〃　岡田厚
㈱伊藤喜三郎建築研究所　常富一雄
〃　川田稔
㈱伊藤喜三郎建築研究所　坂部建司
春日建設㈱　福田靖夫
㈱高橋輝一建築設計事務所　相田眞
〃　田口敏昭
㈱いさみや　鶴岡直吉
高谷商事㈱　内藤作造
日本フード㈱日本盛　磯郁子
㈱東京駅美容室　瀬川陽子
㈱林恒商店　畠中一成
〃　五十嵐隆
〃　埼玉秀一
〃　内山秀夫
〃　畠中博子
〃　崎山光俊
㈱鈴木治作商店　西田順夫
㈱柳下商店　中坂達夫
〃　冨本達也
㈱鈴木治作商店　吉田健一郎
㈱柳下商店　山田清行
㈱鈴木治作商店　下曽根安男
〃　越河美智子
㈱林恒商店　高橋信子
㈱保野　鈴木栄里
豊澄電源機器㈱　大島博
中央無線電機㈱　佐藤文雅
和宏電子工業㈱　伊藤正樹
筑波電機㈱　山田暁子
東京電音㈱　太尾田久美子
カマタ無線電機㈱　山崎好晃
㈱栄電子　内野晴夫
サンコー電機㈱　村上敏
和知電子機器㈱　早川紀沃
前田勇税理士事務所　矢野麻利子
東京都トラック協会千代田支部　本城みさ
大場理容所　内田保
西郷理容館　戸張フミエ
㈱有楽会館レバンテ　関口綾子
井上理髪店　太田修一
川島理容室　東暘一郎

三崎運送㈱　杉本文明
矢萩運輸㈱　伝農勇三
〃　江利角徳義
㈱高木運送店　渡辺繁雄
矢萩運輸㈱　松本勝弥
出版輸送㈱　橋本昭
㈱高木運送店　橋爪勇
〃　岩佐正直
三崎運送㈱　長崎信彦
出版輸送㈱　高田幸吉
早船運輸㈱　横田昇
三和運輸㈱　青木弘
㈲篠崎運送店　八木利夫
力行運輸㈱　久手堅憲志
㈲篠崎運送店　木村朝英
片桐運送㈱　野上信幸
〃　牧野鉄夫
〃　江口敏子
㈲篠崎運送店　内田弘
〃　水田昭一
㈲栃木屋運送店　佐藤秀広
〃　坐間ゆり子
㈲千代田テーラー　原正美
東京紳士服専門店協同組合　伊藤文恵
㈲大屋書房　鈴山こづえ
〃　徳村万貫夫
㈱内山書店　大西禅
ミカサ電子㈱　霜田英雄
鳥居電業㈱　広瀬登
㈱三共社　関山晃司
㈱関山製本社　三田宏
〃　篠崎健一
㈲錦光堂　木内千夫
㈱新英紙工所　小林昭二
〃　松本茂
㈱石毛製本所　大畠立三
㈱小林製本所　阿部次男
〃　早川まさ子
㈱新英紙工所　飯塚幸男
〃

西村印刷製本㈱　本田志郎
〃　畔上勝栄
〃　春日寛一
〃　飯村達也
〃　橋本勇一
〃　緑川俊広
誠和製本㈱　杉田幸光
〃　米谷昭彦
〃　荻原祥二
千代田特殊無線㈱　三枝照代
ミナミ無線電機㈱　鈴木幸恵
〃　赤堀正
東京船舶電機㈱　鈴木政司
〃　成瀬輝昭
十條電機㈱　進邦研二
〃　小林克次
〃　飯沼章夫
〃　稲葉弘
〃　相島博
〃　野田隆雄
㈱三京　小久保和市
東京船舶電機㈱　鳴釜孝光
㈱富士羅紗店　橋詰正男
㈲兵藤商店　古山照夫
㈱天野屋羅紗店　高山正之
田代屋塗料㈱　恒川岩雄
ミヤチ化成㈱　竹田鉄成
杉田塗料㈱　丸山晴雄
〃　平野治雄
㈲伊勢屋製菓　田沢成松
㈱小鍛冶　手塚英男
〃　斉藤忠明
ヤマシロパーラー　竹内信行
〃　百瀬友介
㈱純喫茶タチバナ　有我知幸
喫茶リザーブ　山瀬泰子
ひまわり商会　浜野藤枝
㈲和栗ハトヤ　湯谷美好
㈱珈琲エムプレス　宮島保

喫茶ぱんしゃ　南沢信一
アーバン　松村博
純喫茶ウッド　清野美男
共立食品㈱　長山なみ子
東條会館美容室　田村キミイ
共立運輸㈱　栗野清吉
〃　渡辺俊男
㈲梶間商会　秋山健司
㈱田中モータース　阿比留俊一
㈱まんがん　吉澤美代子
麗水　米沢友子
㈱まんがん　松尾榮子
同和製本㈱　大橋二男
〃　渡辺寿
〃　佐藤勝
合資会社村上製本所　森尻勲
〃　永井弘一
勤福建設工業㈱　鈴木靖彦
㈲玉川堂　滝口房子
㈱カラーテック　織田正史
〃　篠崎輝雄
㈱文会堂　押久保たか子
㈲南海堂書店　須賀優
〃　戸井田宗二郎
㈲稲垣書店　和田巌
〃　元井義雄
文明堂丸ビル店　古賀恵子
㈱メーフェア洋装店　三井亜子
丸之内会館　川崎哲郎
㈱丸之内精養軒
〃　渡辺浩一
文明堂丸ビル店　榊原千代子
㈲原島不動産　舟木嘉七
松月庵　丸林礼子
〃　牧原功
ポーラ化粧品水道橋営業所　櫛引まる
〃　金子まさ
〃　武田スヅエ
㈱東京メダル製作所　合田茂
天ぷらいもや　松岡茂雄

さかいやスポーツ　下総哲
割烹むらかみ　細江佑子
㈱栃木屋　伊藤勇
〃　小川みね
松本製缶㈱　小口忠雄
二光カメラ　安藤享
㈱八千代寿し　砂川国雄
㈱井泉　船越太佳簡
㈱花省　宇多川勝幸
〃　清宮正匡
野坂運送㈱　井出年男
中華てるよし　田中久三
㈱大原正三堂　桑田誠
天重本店　張替まさ子
〃　森川栄子
㈲大室商店　亀島重三
中井内張店　小林信雄
〃　中野正巳
三春　橘川悦子
〃　佐藤チヨ
はせ川　戸辺しげ子
㈱内野商店　愛山勝男
丸井クリーニング店　依田光雄
丸一ゴム工業㈱　降旗征二
㈱千代田建設　小林和夫
医療法人社団寿会　新井勇
千代田診療所　猪野一子
〃　岩崎隆
㈱市川モータース　瀬谷隆
〃　菊池志郎
㈱日本シネフイルム研究所　小池敬吉
㈲シャレー栄陽堂　安達忠由
小西モータース　南風原昭
㈲河合商店　大久保泰男
㈱丸孝羅紗店　堀川明亨
福豊㈱　藤田喜久
㈲村西商店　内山光夫
㈱あさ開瑞鳳東京営業所　荻田和雄
銭谷自動車工業㈱　藍原武之

㈲日米商事　渡辺隆
蛇の目寿司　桶本孝
〃　比留間雪雄
㈱あさ及　岩瀬正江
理容シバタ　見上八千代
㈱桜井食品　小島甲子郎
第三東海㈱　吉野正雄
㈱旭堂　中澤龍
㈱斉藤壜店　木村啓夫
神田土地建物㈱　中村千代吉
〃　竹田正男
㈱今文　川崎久子
荘司建設㈱　橋本顕栄
マルト金物工業㈱　細崎一郎
㈲池田青果店　池田幸雄
割烹もとみや　村田都司男
〃　坂本和夫
金子税務会計事務所　中山実
〃　三上欽司
㈱アガタ・パッケージ　須藤大吉
〃　関口一郎
㈱竹澤商店　滝本晃
㈲京家　渡辺彦光
中西研磨材工業㈲　松崎博
〃　佐藤せつ子
〃　神宮幸男
〃　高木博明
〃　海野浩明
〃　國井文夫
㈱清水デザイン　石井久子
㈱神田まつや　島田仁
〃　市川芳幸
成和㈱　橋本清
㈱ニューター秋葉原センター　山中信雄
〃　鈴木きみ子